

2024 年度 国家一般職本試験（基礎能力試験） 講評

No.	科目	出題内容	正解	正答率※	講評
1	文章理解 (現代文)	内容把握	2	A	<p>【文章理解（現代文）】 今年度から文章理解の出題数が1題減ることが公表されていたが、現代文は例年どおり、内容把握4題、空欄補充1題、文章整序1題の計6題であった。内容把握は、正答率からも例年並みの難易度であるといえる。文章整序も正解が確定しやすい問題であった。空欄補充の問題について、空欄に入る内容自体は空欄前後の文脈から容易に判断できる。しかし、選択肢に四字熟語が含まれ、高校受験レベルの四字熟語ではあるものの、「虚心坦懐」「付和雷同」の意味を知らない受験生にとっては正答が確定しがたい問題だったことが伺える。この問題の正答率は、他の5問に比べても低い状況であった。</p> <p>【文章理解（英文）】 内容把握が1問減り、内容把握2問、文章整序1問、空欄補充1問の全4問構成となった。内容把握の難易度がやや上がった。文章整序は例年通り難易度が高かった。解答の切り口となる接続詞はなく、指示語はあるもののやや見つけにくい問題であった。この問題の正答率は4割程度であった。</p> <p>【判断推理】 基礎能力試験の出題数変更により、昨年度の8題から1題減少し7題（No. 11～17、うちNo. 17は空間把握の問題）となった。全体的に難易度は昨年度並みで、標準的な問題が並んだ印象を受けた。No. 11、No. 14のようなKマスター数的処理の例題レベルの問題もあれば、問題の一部の条件を使うだけで正解肢を選べってしまうような問題もあり、解きやすい問題が数問含まれていた。No. 13は、1番目の条件「経理課1人」と3番目の条件「大学卒3人、院卒2人で同じ学歴の人は同じ課にはならない」という内容だけで「経理課は大学卒」と判断できる。これらの問題では正答率が7割前後と比較的高かった。その他の問題でも約半数以上が正解していたものの、計算力、場合分け、空間把握を要するという点もあってか、正答率が伸びなかった。No. 12の集合算の問題は、2種類のみを飼っている人数（不明なもののみ）と、3種類を飼っている人数を文字で置き、上から4つ目と6つ目の条件に関する方程式を立てて解けば求められる。No. 15は、本選の全試合数が${}_5C_2=10$試合であること、A、B、Cの勝ち数の合計が8試合であることから、DとEの勝ち数は(2, 0)、(1, 1)、(0, 2)に絞れ、場合分けして検証することで解ける。No. 17は、線分ABがX軸上にあるとき及びY軸上にあるときのBと原点との位置関係から考えると、選択肢を1つに絞ることができる。</p> <p>【数的推理】 基礎能力試験の出題数変更により、昨年度の5題から1題減少し4題（No. 18～21、うちNo. 21は図形の計量問題）となった。昨年度は、数的推理の問題としてはあまり見慣れない、情報と絡めた問題が1題出題されたが、今年度はそういった問題はなかった。全体的な難易度は昨年並みで、標準的な問題が並んだ印象を受けた。No. 19の速さの問題は、3人が「同じ道」すなわち「等しい距離の道」を移動したときの話をしており、速さの比と移動時間の比が逆比であることを利用すれば解けるのだが、こういった比の性質を使いこなせない受験生が多いのか、正答率は約4割と低かった。No. 21の図形の計量は、紙を折る前の各辺と各頂点が折った後にどこに移るのかを考えた上で、辺の長さや角度を調べていけば、求める長さも導出できる。</p> <p>【資料解釈】 資料解釈は、基礎能力試験の出題数変更の影響を受けず、昨年度と同じく3題（No. 22～24）出題された。No. 22、No. 23は、おなじみの実数値や増加率の表やグラフの問題であったためか正解者が多かった一方、No. 24の正答率は半分以下となった。表中で土を使って数値の範囲が書かれていて内容を掴みにくかったことが関係していると思われる。肢3の内容が正しいが、ここで触れている4項目の各々の範囲内で被る数値（25又は26億トン炭素）を導ければ、年代ごとの量（50又は52億トン炭素）も求められる。</p> <p>【時事】 時事は今年度から出題数等が変更され、気象・災害、労働、国際会議・各種イベント、原子力、我が国の社会情勢の5問が出題された。気象・災害は、人文科学や自然科学の知識を活かせる選択肢もあり、比較的容易な問題といえる。労働は典型的な時事問題であるが、「2024年問題」など、一般常識の範囲でも正誤の判断ができるので得点源としたい問題である。国際会議・各種イベントは、人文科学・自然科学・社会科学など幅広い要素を含んだ問題となっているが、時事対策ができていれば各選択肢の正誤の判断できる問題である。原子力は、自然科学の知識で正解肢を絞り込めるが、大きく報道されている出来事もあり、比較的容易な問題と言える。我が国の社会情勢については、経済社会活動に強く結びついた内容の選択肢が多く、日頃の時事対策で十分対応できる内容である。いずれの問題も基本レベルから標準レベルなので、5問中3問以上正解しておきたい。</p> <p>【情報】 誤りの検出方法であるパリティビットが題材とされた。本年度の国家総合職でも誤りの検出方法であるチェックディジットが題材とされており、受験して解いた人は思考の流れに乗りやすかったのではないかと、いずれも説明文によって誘導は丁寧になされており、落ち着いて読めば知識がなくても得点は可能と思われる。フローチャートや特別な関数はないが、ビットなどの基礎的な概念の理解は必要である。</p>
2		内容把握	2	A	
3		内容把握	3	A	
4		内容把握	5	A	
5		文章整序	2	A	
6		空欄補充	5	A	
7	文章理解 (英文)	内容把握	4	A	
8		内容把握	5	A	
9		文章整序	1	B	
10		空欄補充	5	B	
11	判断推理/ 数的推理	論理（論理式）	1	A	
12		文章題	2	B	
13		対応関係	5	A	
14		位置関係	1	A	
15		試合	2	B	
16		最大・最小	3	A	
17		軌跡	1	B	
18		場合の数	4	A	
19		速さ	5	B	
20		覆面算・魔方陣	4	A	
21		平面図形の計量	2	C	
22		グラフ（増減率）	3	A	
23		表（実数）	4	A	
24		表（実数）	3	B	
25	時事	気象・災害の動向	2	A	
26		労働をめぐる動向	3	A	
27		国際会議や各種イベント	3	A	
28		原子力をめぐる動向	5	B	
29		我が国の社会情勢	4	A	
30	情報	パリティチェック（奇偶検査）	1	C	

※ 正答率（A：60%以上、B：40%以上60%未満、C：40%未満）は、LEC公務員試験 受験生応援企画『本試験無料成績診断』のデータ（6/11時点）に基づいて算出しています。本成績診断のご利用方法等の詳細は、LEC公務員Webサイトの専用ページ（<https://www.lec-jp.com/koumuin/juken/seiseki/>）にてご案内しています。



0 001112 237841

KL23784